

パナソニックミュージアム「松下幸之助歴史館」企画展示

松下幸之助「紙面に託したメッセージ」

— 企業広告の変遷展 — 開催中

松下幸之助は創業間もない頃から、事業家・企業経営者としての思いを、さまざまなメディアを通じて社会に発信してきました。その主軸となったのが、新聞紙上に放った広告です。

この展示では、1927(昭和2)年の「ナショナルランプの三行広告」に始まる代表作を選び、年代順に合計19の作品を紹介します。紙面に込められた幸之助の志や主張、あるいは確たる決意に、各時代の雰囲気とともに触れていただければと思います。

右：ナショナルランプの三行広告

1927(昭和2)年4月9日、大阪朝日新聞に「買って安心 使って徳用 ナショナルランプ」とうたう小さな広告が載りました。ナショナルが、初めてマスメディアに登場したのです。

字の太さ、字と字の間隔、周囲から見て、字はどういうような感覚になるか？ 幸之助自身が丸三日間、考え抜きました。



2025年11月中旬まで / 最新情報はホームページにてご確認ください。

パナソニック ミュージアム



<https://holdings.panasonic.jp/corporate/about/history/panasonic-museum.html>

